

財務戦略

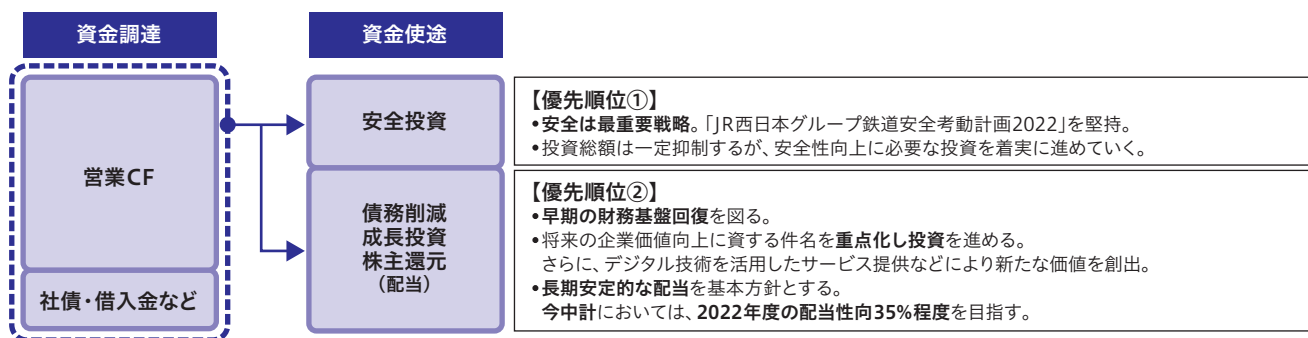
基本方針

今後新たな感染症や自然災害といった災禍が起こった場合でも、社会インフラを担う企業グループとしての使命を果たし続けていくため、早期の財務基盤の回復が不可欠です。そのためにも、変革・復興期末(2027年度末)において、D/Eレシオ1倍程度まで回復させることを目指します。

2021年9月に新株式発行による資本調達を行いました。

これにより、今後の多様な機会をとらえた成長と、財務基盤の早期回復を両立させていきます。

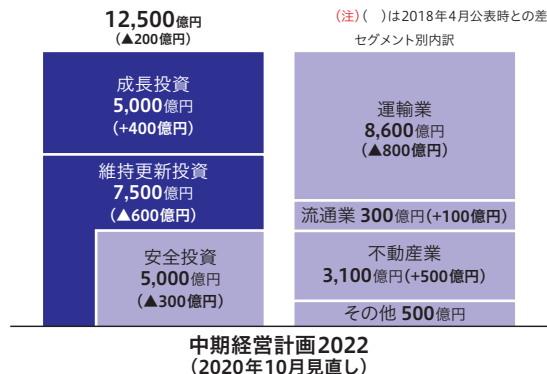
基幹事業である鉄道の安全投資を最優先に、コロナ収束後の成長を通じた企業価値や株主価値向上の実現を目指し、ステークホルダーの皆様のご期待にお応えしていきます。



設備投資

中計見直しにおいて、連結設備投資は、5カ年で1兆2,500億円を計画しています。安全投資総額は一定抑制しますが、安全性向上をはじめ、中計見直しで掲げた施策の実施に必要な投資を進めていきます。

今般の公募増資により得た資金についても、①コスト構造改革に向けた鉄道オペレーションの生産性向上、②広域鉄道ネットワーク磨き上げに向けた車両新製、③地域共生の実現に向けたまちづくり、④変化対応力向上に向けたJR西日本グループデジタル戦略推進に係る設備投資資金のそれぞれ一部に充当する予定としています。



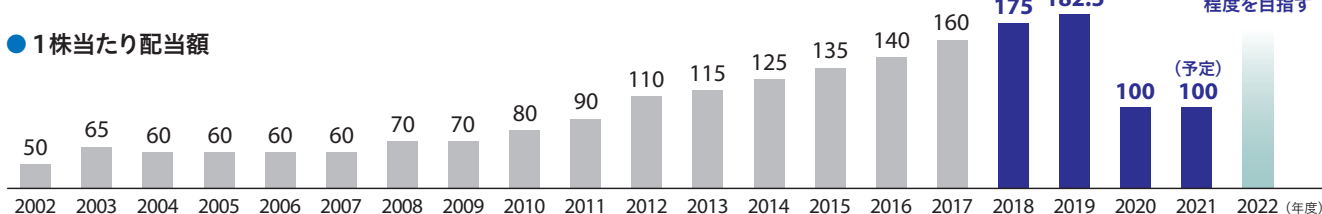
株主還元

長期安定的な配当を基本方針とし、2022年度において配当性向35%程度を目指す方針とします。

2020年度は赤字決算となったものの、期末配当金については1株当たり50円、年間100円としました。

2021年度についても、長期安定的な配当を重視する方針に基づき、業績回復へ向けた決意という意味でも通期で1株100円の予定としています。

● 1株当たり配当額



(注) 2011年7月1日付で普通株式1株を100株に分割。1株当たりの配当額は分割後の株式数で算出。